R4年工業クラブ（溶接班）の活動

1　群馬県学生溶接技術競技大会過去の結果について

	参加校数	被覆アーク	獲　得　賞	団　体	参加校数	半自動アーク	獲　得　賞	団　体
平成27年度	11校	5／79名	敢闘賞3	5位	11校	0／13名	ー	ー
平成28年度	12校	7／61名	優勝	4位	7校	3／18名	敢闘賞2	2位
平成29年度	11校	7／71名	優勝、敢闘賞	4位	6校	3／23名	敢闘賞	3位
平成30年	20校	1／22名	5位（優秀賞）		関東甲信越大会 1都9県（各2名）＋首都圏（2名）			
平成30年度	10校	10／64名	敢闘賞2	4位	5校	3／32名	3位	2位
令和元年度	10校	9／67名	敢闘賞2	ー	5校	5／28名	ー	ー
令和2年度	9校	13／84名	敢闘賞1	ー	6校	9／49名	ー	ー
令和3年度	コロナ拡大のため中止							
令和4年	9校	2／16名	8位（2名）	参加校；利根実・富実・伊工・渋工・太工・高工・藤工・桐一				

※令和3年度コロナ拡大で中止になりましたが、令和4年7月16日（土）に第12回関東甲信越高校生溶接コンクールが東京ビックサイト開催決定につき、県予選の緊急開催が5月群馬産業技術センターで開催されました。

※−印は入賞者なし、個人得点の公開なしにより順位がわからな。

※平成28年度（D科男子）、平成29年度（M科女子）、2年連続優勝した。平成29年度は女子が群馬県内2人目の優勝、女子初の関東甲信越高校生溶接コンクールに出場の初入賞（5位優秀賞）をした。

2　開催日

令和4年5月21日（土）群馬産業技術センター

3　競技種目（基礎競技課題は被服アーク溶接1位・2位が関東甲信越大会出場選手となる）

被覆アーク溶接部門・・・・・ホルダーに溶接棒を挟み高電流を流し鉄を溶かし溶接を行う。

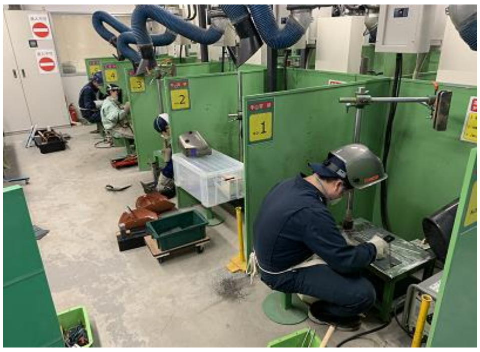
・鉄板（厚さ3．2mm×100mm×150mm）2枚を突き合わせて溶接を行う。

評価・・・表（外観）100点、裏（外観）100点、折り曲げ試験100点の計300点

4　大会風景（2時間練習会後に大会）

会場

練習説明と大会説明



練習・大会ブース

大会開始

課題置き場

ほっと一息

※今回、2I女子2名が参加しました。連絡の1ヶ月後なので練習期間が短く、資格試験とも重なり、毎朝30分練習で大会に臨みました。出場者はほとんど3年生、とても良好な作品を仕上げていましたが、女子2名も今日イチを出し上位を狙いましたが同率8位でした。R4年度大会優勝目指し頑張ります。